

事務事業名	街路樹の維持管理事業		所属部局	建設部	単位番号	7034				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	道路整備課	課長名	新津 元博				
			所属担当	維持担当	担当者名	三柵 武				
基本政策	基本計画	III うるおいと利便性のある都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 08	項 02	目 01	細目 020	細々目 03
政策	計画体系	11 道路網の整備	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	18 生活関連道路の整備									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度) 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度) 年度)		法令根拠							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 ・街路樹の維持管理を行い市民生活の快適性・安全性を確保するため。 ・白根地区24路線 ・楡形地区30路線 ・若草地区2路線 ・甲西地区17路線			事業費の主な内訳 ( 26年度 決算見込 ) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 需用費 125 役員費 1,146 委託料 16,900 原材料費 6 計 18,177						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	26年度活動内容 市民生活の快適性・安全性を確保するため、街路樹及び植樹樹等の維持管理を実施予定 27年度活動予定 市民生活の快適性・安全性を確保するため、街路樹及び植樹樹等の維持管理を実施予定
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	・道路通行者 ・市民
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	・安全に通行できるようになる。 ・快適に暮らせるようになる。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	・安全に通行できるようになる。 ・快適に暮らせるようになる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 維持管理路線数 路線 イ ウ
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 人口 人 イ 人口 人 ウ
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 修繕箇所数/必要箇所数 % イ ウ
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 道路整備に関する住民の満足度 % イ 生活環境に関する住民の満足度 %

年間トータルコスト		単位	24年度 (決算・実績)	25年度 (決算・実績)	26年度 (決算見込・実績)	27年度 (予算・目標)	28年度 (計画・目標)	29年度 (計画・目標)	最終年度 (トータルコスト・目標)
事業費	財源内訳	国庫支出金	千円						
		県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	16,830	17,874	18,680	18,842		
事業費計(A)		千円	16,830	17,874	18,680	18,842	0	0	0
人件費	人件費	正規職員従事人数	人	3	3	3	3		
		延べ業務時間	時間	400	400	400	400		
		人件費計(B)	千円	1,820	1,820	1,820	1,820	0	0
(A)+(B)		千円	18,650	19,694	20,500	20,662	0	0	0
活動指標	ア イ ウ	路線	73.0	73.0	73.0	73.0			
対象指標	ア イ ウ	人	72,900.0	72,181.0	72,933.0	73,100.0			
		人	72,900.0	72,181.0	72,933.0	73,100.0			
成果指標	ア イ ウ	%	100.0	100.0	100.0	100.0			
		%							
上位成果指標	ア イ	%	42.2	38.9	43.4				

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	安全で快適な道路環境を維持するため
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	街路樹が生長し高木になりすぎている
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	夏、ムクドリ等の飛来によって騒音・糞等の苦情が寄せられている。また、秋・冬になると木の枝や葉っぱ等が落ちて困るとの苦情がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	秋、冬になると木の枝や葉っぱ等が落ちて困るとの苦情があるので剪定するにあたり予算の増大をお願いしたい
③ H 26年度に実施した改革改善の内容	ムクドリによる被害に対応して、一部夏季剪定を試行してみた。ムクドリに対する効果はあり、また、秋・冬の落ち葉の軽減も図れた。

事務事業名	街路樹の維持管理事業	所属部	建設部	所属課	道路整備課
-------	------------	-----	-----	-----	-------

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？ 意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 街路樹の整備をすることにより温暖化等に役に立つと同時に景観にもいい。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 公共施設等の適正維持管理は、市が行う義務ではあるが地域住民も協力してほしい。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 車や歩行者の安全な通行の確保、及び近隣住民からの苦情対応としても、継続していくことは妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後、工夫や努力をする事で、事務事業の目的に向けて現状よりも成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 限られた予算、及び人員において実施しているため、向上の余地はない。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入↓) <input checked="" type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input type="checkbox"/> 類似事務事業がない
	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 剪定、落ち葉等の苦情対応ができない <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 剪定、落ち葉等の苦情対応ができない
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 街路樹が生長することによって、コストが増えることはあっても、削減する余地はない。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 街路樹を縮小しない限り出来ない
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 街路樹沿い以外の方々にも協力を頂きたい

## 3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	毎年、業務委託により街路樹の維持管理は適切に行われてきていると思う。一部、扇形7号線(ケヤキ通りの維持管理については、苦情も多く、地元役員、地域住民の協力の中で進めていかなければならない。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果) <input type="checkbox"/> 終了	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について H26年度、一部で実施した夏季剪定がムクドリ対策や落ち葉の量に効果が見られたため、H27年度夏季剪定の範囲を拡大して実施してみる。今後も引続き、地元住民や関係者と協議を行い、大木化及び老木化してきている樹木の伐採や樹種の変更等を協議し、コスト削減を図ってきたい。																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策 ムクドリや落ち葉による被害を受けている地元住民と、市の景観のシンボルともなっているケヤキ通りのケヤキのトンネルを残して行きたい関係者として意見の相違があり、今後も引き続き協議を進めていかなければならない。	(5) 事務事業優先度評価結果 平成26年度																					
	成果優先度評価結果 ② コスト削減優先度評価結果 ⑧																					